

## 定例記者発表報道事項

部 局 名	薬学部			
責 任 者	高石喜久			
報 道 タ イ ト ル	19年度薬用植物園一般開放			
報 道 概 要	<p>毎年恒例となっております薬用植物園一般開放を10月23日(火)～25日(木)の3日間開催致します。開園時間は9時～17時。昨年同様、自由にどなたでも好きな時間に見学できるようにします。</p> <p>今回は、秋にしか見ることができない、めずらしい実をつけた植物やめずらしい花を紹介したいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国雲南省で一番辛いウガラシ「小米辛」(ショウミラ)が実を着けました。さて、その辛さは、当日のお楽しみです。</li> <li>・ ビタミンCが多く、近年健康食品として話題のイザヨイバラの果実、棘梨(トゲナシ)がたくさん実を着けました。その果実は棘が一杯。現地で見てください。</li> <li>・ トケイソウ(時計草)12種を栽培しています。中でも黄色の花咲くキトリアは珍しく、とても美しい。その美しさに触れてみましょう。</li> </ul> <p>さあ、辛いのが好きな人も、すっぱい棘のあるのが好きな人も、美しい花が好きな人も、いざ、薬草園へ。</p> <p>勿論、漢方薬に使う薬用植物、セージ、ミントを始めとした多くのハーブ類を始め、たくさんの植物が皆様方のお越しをお待ちして下ります。</p>			
備 考	<p><b>ハマビシ</b> <i>Tribulus terrestris</i> L. ハマビシ科ハマビシ属          関東から福井以西、四国、九州、世界の暖帯北部から熱帯にかけて分布。1～2年草で、花期は夏。果実は、シツリシといい、頭痛を目標に漢方方剤として処方される。絶滅危惧IB類</p> <p><b>ハマナツメ</b> <i>Paliurus ramosissimus</i> (Lour.) Poir.          クロウメモドキ科ハマナツメ属          本州(静岡以西)四国、九州、沖縄、沿海地、中国、インドシナなどに分布する落葉低木で、花期は夏。果皮はコルク質でできており、水に浮き海流によって散布される。絶滅危惧IB類</p> <p><b>イザヨイバラ</b> <i>Rosa roxburghii</i> Tratt. f. <i>normalis</i> Rehd. et Wils          バラ科バラ属          中国原産で、花期は夏。果実は棘梨と呼ばれ、ビタミンCが豊富。</p> <p><b>キトリア</b> <i>Passiflora citrina</i> J.M. MacDougal          トケイソウ科パッシフローラ属          グアテマラ東部～ホンジュラス中部原産。つる性の多年草で、花期は春～冬。和名のトケイソウは、花の形が時計の文字盤のようなので、この名がついたと言われている。一般にパッションフルーツと呼ばれるのは、「クダモノトケイソウ」の果実のことで、ジャムやジュースに利用される。</p>			
詳 細 取 材 窓 口	担当者所属	薬学部	担当者氏名	高石喜久